



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会（日本PE協会）

平成 20 年度 第 4 回 (2008 年 7 月度) 理事会議事録

日 時	平成 20 年 7 月 16 日 (土) 9 時 30 分～12 時 00 分	
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 2-10-17 石原ビル 2F	
出席者	理事：土屋、泉澤、青木、柏井、関口、金城、鈴木、植村(スカイブ参加)、神野 監事：武田 事務局： (順不同、敬称略) 川村 PE(スカイブ参加)、高柳 (JPEC 代表)	
欠席者	理事(委任状有)：竹政(土屋)、内田(植村)、富田(神野) 監事：大久保	
議 題	特別事項 審議事項 1 第 3 回 6 月議事録確認 (総務部会) 2 新入会員承認 (会員部会) 3 P E N 問題に関する討議 (会員・総務) 4 ホームページのプロバイダ変更について (広報) 5 NSPE 総会におけるプレゼンについて (会長) 6 JPEC との議事録交換について (涉外) 7 8	
	報告事項 1 東京都向け事業報告書 (総務部会) 2 6 月度の支払いと Access Report (広報) 3 法人都民税(均等割)免除と手続き法の変更・簡略化 (会計部会) 4 5 6	
添付資料	添付 1. エンジニア資格 国際相互認証動向 添付 2. Mr. Berson, President NSPE speech 添付 3. 添付 4. 添付 5. 添付 6. 添付 7. 添付 8. 添付 X.	川村 PE



議事内容	アクション
<p>● 賽議事項</p> <p>1. 第3回6月議事録確認 前回の議事録を確認した。</p>	(総務部会)
<p>2. 新入会員承認 下記2名の新入会員について入金を条件として会長が承認した。 FE会員(確認中) 山田一貴さん(オンライン登録済み、入金条件で入会) PEN会員 高浦勝寿さん(オンライン登録済み、入金条件で入会)</p>	(会員部会)
<p>PE合格 FE-0264 汐崎亮介さん(PE-0156へ) FE-0258 吉田亨さん(PE-0157へ) PEN-0004北林孝顕さん(PE-0158へ)</p> <p>理事会前 PE 127名 準PE 8名 FE 180名 AF 17名 ST 3名 合計 335名 理事会後 PE 130名 準PE 8名 FE 179名 AF 17名 ST 3名 合計 337名</p>	
<p>9月14日にPE/FEの合格祝賀会を開催するので理事の参加を要請した。</p>	
<p>3. PEN問題 今年1月にPE合格したPEN会員の登録状況について説明した。 北林さんが7月のOREGON board meetingで登録を承認された。北林さんはPENで最初のregistered PEである。 他のPEN会員の方でReferenceを提出したが不十分である旨の通知が来て苦労されている。 Referenceの書き方や経歴の書き方が重要であり会員サービスとしてPE登録tipsを作成すべきであるとの意見があり今後検討することとした。</p>	(会員・総務)
<p>4. ホームページのプロバイダ変更について 現在のホームページのサーバ契約は、WebARENAでサーバ容量50Mbとなっている。この容量はメーリングリストと一体の運用となっているため、ホームページの容量が50Mbを越えるとメーリングリストも使用不能となる。 今春から数度にわたってメールの一斉発信ができない事態が発生している。 これを回避するためにサーバの容量アップを行うことを提案した。 低価格で容量アップが図れるケースとしてプロバイダをNTTPCコミュニケーションズからKDDIへ変更し容量は50Gb若しくは10Gbの2案について提案され議論した。 その結果、緊急性が高いので11月の契約更新時期を目指し、本期中に容量を図ることとした。 作業項目と費用について早急に作成することとした。 また、費用の措置については会計で検討することとした。</p>	(広報部会)
<p>5. NSPE総会におけるプレゼンについて NSPE総会でのJSPE関連の会議は 24日NSPE boardとのミーティング 相互交流を3分で発表 26日 バーソン会長、事務局長及びBoardと1時間15分に渡っての海外PEについての会議。 27日 各種の代表が集まる会議で5分間のスピーチ。 パワーポイントなしでの発表。</p>	(会長)



議事内容	アクション
<p>26日の会議には韓国、カナダが別々の時間に会議を行う予定であり、Berson会長の提案でもあるがPEの国際化にNSPEも前向きに取り組む姿勢がうかがえる。</p> <p>26日の会議内容としては、日本人PEの問題を訴えるのではなく、NSPEにとってのメリットを前面に出した発表とする。</p> <p>韓国は韓国技術士会が母体となりgovernment sanctionもとりやすい状態にあり、日本側はaffiliate memberであるが韓国はassociate memberである。</p> <p>6. JPECとの議事録交換について JSPEとJPECは緊密な関係でありお互いの議事を理事同士理解するべきであり、理事交換の提案があったが、JPECは試験に関する公表できない内容も議事録に記載しているので、JSPEの理事への配布はするべきではないとの結論になった。 緊密な関係を促進するために、JSPE及びJPECの理事会に代表が相互にオブザーバーとして参加し、必要に応じて発言することによって、決議事項として議事録が配布される以前に、審議の過程で互いの組織の意見を調整する運用を継続する。</p>	(総務部会)
<p>報告事項</p> <p>1. 東京都向け事業報告書 原稿はほぼ完了した。原稿完了後理事に配信する。7月末に都に提出予定。</p>	(総務部会)
<p>2. 6月度の支払いとAccess Report 月次のサポート費用 21,000円と臨時の31,500円の支払い (Web入会のフォーム改定作業分) を行う。今期の臨時予算枠は本件で限度となる。 Access Reportは今回間に合わなかったので後日メール配信する。</p>	(広報部会)
<p>3. 法人都民税（均等割）免除と手続き法の変更・簡略化 法人税免除（7万円）の申請は今期から不要となった。ただしNPO法人の事業を逸脱した営利を目的とした事業を行った場合、法人税の確定申告が必要となり、かつ、赤字決算でも都民税（均等割）の再申告・納税が必要となる。 8月の理事会は開催しない。</p>	(会計部会)

承 認	土屋 雅彦	
承 認	泉澤 聖一	
承 認	柏井 善夫	
記録作成	神野 秀基	